

バウンドテニス

【バウンドテニスについて】

バウンドテニスとは、テニスと同様のルールで、狭い場所でも気軽にでき、しかも運動量も十分にあるスポーツとして、昭和55年に日本で考案・開発され、『誰でも気軽に楽しくできるスポーツ』として急速に普及した。

バウンドテニスの“バウンド”とは英語のバウンダリー（限られたスペースの意）から来ているもので、テニスコートの6分の1の面積でプレーができ、場所を選ばないのが大きな特色となっている。

【用具】※総数

ラケット×17
ボール×9
ネット×4
ネットポール×4
専用コート×4

1セット内容

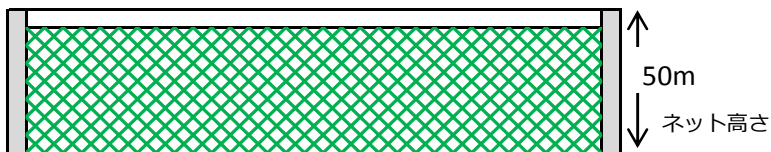
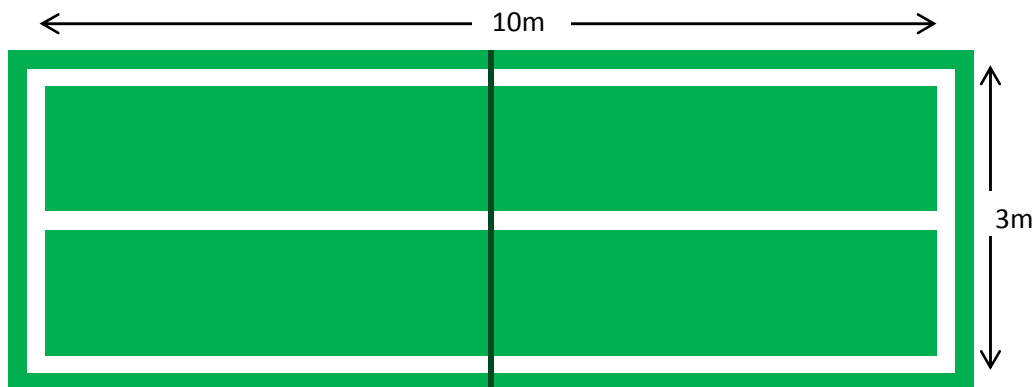
ラケット×4
ボール×2
ネット×1
ネットポール×1
専用コート×1

貸出総数 4セット



【詳細】

○コートセッティング



ラケット…ヘッド部30cm、幅23cm、全体50cm
テニスのラケットに比べ、一回り小さい。
ボール…ゴム製、直径57mm、重さ32g

<ルール>

【ゲーム形式について】

○対戦方式：シングルス（1対1）・ダブルス（2対2）

【勝敗の決定について】

○9ゲームマッチで先に5ゲーム先取したほうが勝ちとなる。

○1ゲーム4点先取。3：3になった場合は、ジュースとなり2点（5点目）とったほうが勝ちとな

○9ゲーム目はタイブレークとなり5点先取したほうが勝ちとなる。4：4はジュースとなる。

【サービスについて】

○サービスは1回までとし、フォアハンドで腰より低い位置でサーブしなくてははいけない。

○サーブは1ゲームごとで相手とチェンジする。

○サーブは自軍コート右側のエンドラインの外から行う。次のサーブは自軍コート左側から行う。

○サーブは行ったコートの対角線上にある相手コートにしなくてはならない。

○ネットインはもう一度サーブをやり直す。

【レシーブについて】

○レシーバーは相手がサーブを打つまでコート内に入ってははいけない。

○レシーブは2バウンドする前に返さなくてはならない。ただし、サーブレシーブはワンバウンドしてから返す。

【コートチェンジについて】

○奇数ゲーム終了後コートをチェンジする。

【ダブルスについて】

○レシーブは、同じものが続けて打ってはならない。必ず交互に打たなくてははいけない。